

4 平成 28 年度予算における「かわさき 10 年戦略」の主な事業

新たな総合計画第 1 期実施計画における「かわさき 10 年戦略」では、まちに活気や活力をもたらす「成長」、市民に安心やうるおいを与え、まちに対する愛着を育てる「成熟」、成長と成熟の好循環を支える「基盤」づくりの 3 つの視点で、7 つの戦略を設定しました。

ここでは、28 年度予算におけるそれぞれの戦略の主な事業を紹介します。

戦略 1 「みんなで守る強くしなやかなまち」をめざす

～自然災害への的確な備えや日常生活を安心して過ごせる環境づくりの推進～

国土強靱化・地震防災戦略の推進

982,598 千円

大規模な災害が発生しても市民の生命や財産を確実に守るため、各種防災計画の推進、防災行政無線等の情報伝達機能の強化等により防災対策を図ります。

- ★ 防災行政無線設備の再整備
- ★ 臨海部・津波防災対策の推進

・津波ハザードマップの作成や津波避難施設標識の設置

まち全体の耐震化など

822,745 千円

民間建築物や公共施設の耐震化の推進、密集市街地対策の推進等により、まち全体の耐震化を図ります。

- ★ 民間建築物等の耐震化の推進
 - ・木造住宅の部分改修工事、耐震シェルター・防災ベッド設置への助成 (拓)
 - ・耐震診断を義務化した特定建築物等への助成

- ★ 橋りょうの耐震対策

- ★ 密集市街地の改善に向けた取組

・新たな条例制定及び対象区域の見直し等の調査・検討



(新)…新規事業 (拓)…拡充事業

上下水道機能の安定確保

16,046,924 千円

大規模災害時でも必要となる水道と下水道がしっかりと機能するように、施設の耐震化や老朽化した水道管路・下水管きよの更新を効率的に行うとともに、避難所となる小中学校等に応急給水拠点を整備します。

★ 上下水道施設等の耐震化

★ 応急給水拠点の整備

- ・既設給水栓を利用した開設不要型応急給水拠点の整備



気候変動への対応

5,000,039 千円

市民との協働による温室効果ガスの削減や大雨による水害を防止する施設の整備等により気候変動への対応を図ります。

★ 地球温暖化対策の推進

- ・温室効果ガスの排出抑制や気候変動への適応の取組

★ 五反田川放水路の整備

★ 大師河原貯留管の整備



消防力の強化・救急医療体制の強化

2,191,107 千円

消防署所の改築や消防指令システムの高度化、救急救命士の養成、超高齢社会に向けた川崎病院の医療機能再編の検討・推進により市民の生命を守る力の強化を図ります。

★ 消防航空隊庁舎の整備

★ 救急隊増隊に向けた救急救命士の養成 ④

★ 川崎病院の医療機能の強化

- ・医療機能再編整備に向けた基本構想の策定



防犯対策の推進

743,595 千円

安全・安心なまちを目指し、多様な主体との協働・連携による防犯意識の高揚・啓発、自主防犯活動団体への支援を行うとともに、消費生活相談体制を充実させ、犯罪を未然に防ぐ地域づくりを進めます。

★ 路上喫煙・客引き行為等の防止に向けた取組 ④

★ 防犯灯の維持・管理支援

★ 防犯カメラの設置支援 ⑤

★ 消費生活相談体制の充実 ④



災害時の拠点となる本庁舎等の建替え

365,407 千円

本庁舎等について、災害対策活動の中枢拠点としての耐震性能を確保するため、建替えに向けた取組を進めます。

★ 本庁舎等建替えの取組 ④

- ・新本庁舎の整備に向けた設計・環境影響評価手続
- ・現本庁舎地上部分の解体工事



新本庁舎検討イメージ

戦略2 「どこよりも子育てしやすいまち」をめざす

～子どもを育てやすい環境づくり～

地域全体で子育てを支える環境づくりの推進～

待機児童解消の継続

46,390,762 千円

待機児童の解消を継続し、保育サービスの質の担保・向上を図るため、認可保育所整備や認可外保育施設への支援を進めます。

★ 認可保育所受入枠の拡大 ④

271 か所 (22,340 人) → 294か所(23,945人)

★ 地域型保育事業による受入枠の拡大 ④

57 か所 (474 人) → 56か所(615人)

★ 一時保育事業の充実 ④

59 か所 → 64か所

★ 認可外保育施設への支援

助成対象者 4,171 人

- ・川崎市児童が横浜保育室を利用した場合の運営費助成及び保育料補助
- ・認可保育所や小規模保育事業を目指す認可外保育施設に対し、改修費用等の一部を補助



★ 病児・病後児保育施設の運営 ④

5か所 → 6か所 → 7か所
(27年度) (28年度) (29年度)

★ 幼児教育の推進

- ・幼稚園等が実施する預かり保育の実施時間、日数等の拡大 (拡)

★ 保育士確保対策

- ・保育士宿舍借上げ費用の補助 (新)

**一戸あたり月額 82,000 円の 3/4(61,500 円)上限
300 人分**

- ・保育士養成施設・通信教育等の受講料補助、保育士試験直前対策講座の実施 (拡)
- ・潜在保育士や保育士養成施設の学生を対象とした就職支援の実施 (拡)

★ 29 年度に向けた整備

**1,390人分（保育所25か所1,295人、
小規模保育事業5か所95人）**

小児医療費助成制度の充実

4,077,030 千円

子どもの健全な育成や子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入通院に係る医療費の自己負担分を助成します。

通院助成の対象を28年4月から小学校3年生まで拡大するとともに、29年4月の小学校6年生までの拡大に向けた取組を推進します。

★ 小児医療費の助成 (拡)

通院助成の対象

(28年4月)

小学校2年生まで → **小学校3年生まで**



子どもがすこやかに育つ安全な環境づくり

2,057,630 千円

子どもが健やかに安心して育つため、児童虐待の未然防止や支援が必要な家庭・子どもへの専門的な支援体制を充実します。

★ 地域における身近な相談・支援の充実 (拡)

- ・児童家庭支援センターの開設（4か所→6か所）

★ 就学援助費の支給・就学事務の適正執行

- ・就学事務システムの構築 (新)

★ 児童支援コーディネーターの専任化 (拡)

65 校 → **79校**



オレンジリボンには
子ども虐待を防止するという
メッセージが込められています。

中学校完全給食の導入に向けた取組

846,887 千円

中学校完全給食の全校実施に向けた取組を進めるとともに、中学校完全給食を活用した食育の取組を進めます。

★ 安全・安心で温かい中学校完全給食の早期実施に向けた取組

- ・南部・中部・北部学校給食センターの設計及び工事
- ・小中合築校方式の給食室改修工事（1校）
- ・自校方式の給食室増築工事（2校）
- ・配膳室の基本設計等（9校）、工事（21校）



★ 中学校完全給食の実施 ㊦

- ・小中合築校方式（東橋中学校、はるひ野中学校）
- ・自校方式（犬蔵中学校、中野島中学校）

地域の寺子屋の推進

34,914 千円

地域ぐるみで子どもの学習や体験活動をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりを進めます。

★ 地域の寺子屋の開講 ㊦

17 か所 → 35 か所

（地域の実情に合わせて随時開講）



地域の寺子屋事業イメージキャラクター
「寺ッコ」

「分かる」授業の実現に向けた取組など教育改革の推進

506,405 千円

子どもたちの生涯にわたる学びや暮らしの基礎となる「生きる力」を伸ばし、学ぶ意欲や態度を育むことを大切にしながら「確かな学力」を育みます。

★ 「キャリア在り方生き方教育」の推進

- ・全校での将来の社会的自立に必要な能力や態度の育成

★ 学校図書館の充実 ㊦

- ・小学校へ学校司書を配置

7校 → 14校



学校施設の環境整備

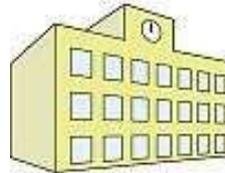
15,779,301 千円

学校施設長期保全計画に基づき、老朽化の進む学校施設の改修を推進し、安全で快適な教育環境を確保します。また、児童生徒の増加に的確に対応するため、校舎の増築や小学校新設に向けた取組を推進します。

★ 学校施設長期保全に向けた取組

- ・校舎

設計 14校 → 18校
工事 2校 → 14校



- ・体育館

設計 21校 → 21校
工事 0校 → 16校



★ 新川崎地区・小杉駅周辺地区における小学校新設に向けた取組

戦略3 「みんなが生き生きと暮らせるまち」をめざす

～健康寿命の延伸と安心して暮らし続けられるしくみづくりの推進～

総合的なケアの推進

5,697,405 千円

誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域を実現するため、「地域包括ケアシステム推進ビジョン」に基づく取組を推進します。また、介護サービス、障害福祉サービスの基盤整備に向けた取組を推進します。

★ 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組

- ・区における地域包括ケアシステム推進体制の強化 

★ 介護予防・日常生活支援総合事業の実施

- ・介護保険事業における多様なサービスの充実による要支援者等への効果的な支援

★ 障害者通所事業所の整備（川崎区開所）

★ 介護サービス基盤の整備

- ・小規模多機能型居宅介護の整備（5か所）
- ・看護小規模多機能型居宅介護の整備（2か所）
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備（3か所）
- ・特別養護老人ホームの整備（28年度2か所、29年度1か所）



健康寿命の延伸に向けた取組

2,425,420 千円

健康的な状態で長生きができるよう、国民病ともいふべき「がん」や生活習慣病を予防するため、がん検診等の受診率向上の取組を推進するとともに、介護サービスの質を評価する取組を実施します。

★ がん検診の受診率向上に向けた取組 ⑧

- ・コールセンターや管理システムを活用した個別の受診勧奨の実施

★ かわさき健幸福寿プロジェクトの推進

- ・要介護度等の維持・改善の成果を上げた介護サービス事業所にインセンティブを付与する取組の実施



介護予防いきいき大作戦
マスコットキャラクター「長寿郎」

超高齢社会を見据えた住宅施策

6,281,170 千円

市民誰もが安心して暮らせる住まいの確保等を図るため、住宅の質の向上や既存住宅の再生・利活用を促進するとともに、住まいの情報提供の充実や、高齢者等に適した住宅の供給と入居支援、地域包括ケアシステムと連携した市営住宅の活用等を推進します。

★ 社会経済状況の変化に対応した住宅施策の推進

- ・「住宅基本計画」の改定
- ・「空家等対策計画」の策定

★ 民間賃貸住宅等を活用した居住支援

- ・高齢者向け賃貸住宅等の供給の促進
- ・高齢者等に対する入居支援等の推進

★ 市営住宅の建替えや地域包括ケアシステムと連携した取組

- ・「市営住宅等ストック総合活用計画」に基づく建替えや市営住宅を活用した地域交流の場の創出



大島住宅完成イメージ

コンパクトで暮らしやすいまちづくり

474,164 千円

鉄道による地域分断の改善や踏切を横断する駅利用者の安全を確保するとともに、地域の特性やニーズを踏まえた路線バスの充実やコミュニティ交通の支援を行います。

★ JR南武線の駅アクセス向上に向けた取組

- ・稲田堤駅及び津田山駅の橋上駅舎化に関する取組



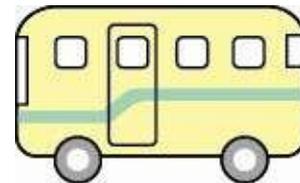
JR南武線津田山駅
完成イメージ

★ 路線バスサービス向上に向けた社会実験の実施

- ・路線新設に向けた路線バス社会実験への支援
(向ヶ丘遊園駅～たまプラーザ駅)

★ コミュニティ交通の支援

- ・コミュニティ交通の導入に向けた支援
- ・本運行地区における事業継続に向けた取組の支援



戦略4 「もっと便利で快適な住みやすいまち」をめざす

～広域拠点・地域生活拠点等の整備による

鉄道駅を中心とした便利で快適な暮らしの実現など～

川崎駅周辺の整備

3,674,310 千円

民間活力を活かしたまちづくりにより、商業・業務等の都市機能の集積を図るとともに、利便性・回遊性の向上のため北口自由通路等の整備を推進します。

★ JR川崎駅北口自由通路の整備 (29年度供用開始予定)

★ 東口駅前地区・京急川崎駅周辺 地区のまちづくりの推進

- ・川崎駅東口地区における民間開発の誘導 ^新
- ・「京急川崎駅周辺地区まちづくり整備方針」に基づく民間誘導



JR川崎駅北口自由通路完成イメージ

小杉駅周辺の整備

1,930,370 千円

民間開発の適切な誘導と支援により、都市型住宅・商業施設・公共施設等をコンパクトに集約した広域拠点の形成を図ります。

★ 小杉町2丁目地区コンベンション施設の整備 (30年度供用開始予定)

★ 小杉町3丁目東地区市街地再開発事業の推進 (31年度完成予定)

- ・良好な道路ネットワークの形成とにぎわいの継承・充実



小杉町3丁目東地区
再開発事業完成イメージ

地域生活拠点等の整備

4,907,513 千円

鉄道駅を中心とした商業、業務、都市型住宅等の機能の集積、民間開発の適切な誘導と支援により、都市型住宅や商業施設などがコンパクトに集約した都市拠点の形成を図ります。

- ★ 登戸土地区画整理事業の推進
- ★ 溝口駅南口駅前広場の整備

幹線道路網の整備・局所的な渋滞対策

15,608,015 千円

都市計画道路等の整備や連続立体交差事業の推進により道路交通の円滑化を図るとともに、局所的かつ即効性のある交差点の改良等により、効率的・効果的に渋滞緩和を図ります。

- ★ 都市計画道路等の整備
- ★ 京浜急行大師線の連続立体交差化の推進
- ★ JR南武線の連続立体交差化に向けた取組
- ★ 交差点改良などによる緊急渋滞対策の推進 ㊦
- ★ (仮称)等々力大橋・末吉橋の整備



緑と水の循環形成

2,174,052 千円

多摩川や多摩丘陵などの自然や農地を保全するとともに、都市公園や緑地などの整備を進め、うるおいのある豊かな市民生活の実現を図ります。

- ★ 多摩川の魅力を活かす取組の推進
 - ・サイクリングコースの延伸整備に向けた検討
- ★ 大規模な公園緑地の整備
 - ・生田緑地西口広場の整備
- ★ 魅力的な公園の整備
 - ・小田公園の再整備
- ★ 農地の保全・「農」とのふれあいの推進
 - ・生産緑地地区の指定の推進と農業体験機会の提供 ㊦



身近な公園のパークマネジメント

3,000 千円

公園の持つ多様な機能を活かし、地域コミュニティを形成する拠点として、公園緑地の魅力や利用者サービスの向上を図ります。

★ 身近な公園緑地の管理運営の推進



安定的な廃棄物処理体制の構築

5,038,397 千円

より一層の環境負荷の低減を図るため、廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再生利用）を図りながら、発生した廃棄物については安定的に処理するため、処理施設を適正に稼働させるとともに、長期的な視点で適切な更新を進めます。

★ 資源化処理の推進

- 資源物の適正な再資源化
- 王禅寺処理センター資源化処理施設の稼働開始 新

★ ごみの適正かつ安定的な焼却処理

★ 処理施設の安定的な運営及び建替えの実施

- 廃棄物処理施設等の基幹的整備
- 橋処理センターの建替えに向けた解体撤去工事



王禅寺処理センター資源化処理施設完成イメージ

戦略5 「世界に輝き、技術と英知で、未来をひらくまち」をめざす

～先端技術等による環境と産業が調和したまちづくりの推進や、

中小企業や商店街を応援する取組～

国際化に対応したイノベーションの推進

4,534,613 千円

様々な分野におけるイノベーション（革新）を推進するため、多様な主体による連携を図るとともに、イノベーション拠点の整備を推進します。

★ ライフ・グリーン・ウェルフェアイノベーションの推進

- ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)の運営支援
- 環境ビジネスの国際展開の支援
- ウェルフェアイノベーションフォーラムによるプロジェクトの創出



ナノ医療イノベーションセンター
(iCONM)

★ オープンイノベーションの推進

- ・新たな「産学交流・研究開発施設」の整備

★ Wi-Fi環境の整備などICT施策の推進 ⑧

- ・民間事業者との連携による「かわさきWi-Fi」の整備・利用エリアの拡充
- ・「かわさきアプリ」による情報発信及び情報提供分野の拡充

臨海部の活性化

5,812,590 千円

高付加価値で国際競争力の高い企業活動を支える操業環境の整備や、殿町国際戦略拠点（キングスカイフロント）におけるイノベーションにより、臨海部全体の活性化に向けた取組を推進します。さらに、企業活動を支えるインフラの整備に取り組みます。

★ 臨海部の競争力強化

- ・「（仮称）臨海部ビジョン」の策定に向けた取組 ⑨

★ 国際戦略拠点の形成・マネジメント

- ・キングスカイフロントの高水準・高機能なイノベーション拠点整備 ⑩
- ・国の「リサーチコンプレックス推進プログラム」を活用した拠点マネジメント体制の構築 ⑪



空から見た川崎臨海部と羽田空港

★ 羽田連絡道路の整備

★ 臨港道路東扇島水江町線の整備

★ 東扇島堀込部の埋立に向けた取組の推進

水素社会の実現

8,000 千円

水素社会の実現に向けて、「川崎水素戦略」に基づき、臨海部における水素供給ネットワークの構築、多分野にわたる水素利用の拡大及び水素に対する社会認知度向上のための取組を推進します。

★ リーディングプロジェクトの実施

- ・再生可能エネルギーと水素を用いた世界初の自立型エネルギー供給システム(H₂One)実証事業の実施
- ・燃料電池フォークリフトの導入実証等



H₂One（川崎マリエン）

中小企業の支援・商業の振興

385,645 千円

新たな事業創出等、地域経済の発展に大きく貢献する中小企業の発展のため、技術力・製品開発力の強化や販路拡大の支援等、中小企業の活性化に向けた取組を行います。

★ 市内中小企業・商業等の支援

- 経営改善や成長促進等、経営課題にあった支援
- ベンチャー、起業及び創業者への個別、集中支援の実施 **新**
- 中小企業活性化条例に基づく地域経済の発展につながる取組の推進



都市農業の振興

25,512 千円

持続的・自立的な農業経営を支援するため、更なる地産地消の推進や農業経営の効率化・高度化及びネットワークづくり等を推進します。

★ 都市農業の促進

- 認定農業者等に対する経営基盤強化への支援 **新**
- 企業や大学等、多様な主体との連携による都市農業活性化の取組 **新**



就業の支援

76,825 千円

雇用のミスマッチ、若年無業者、女性の再就職等の課題に対応するため、相談から就職までの切れ目のない就業支援を行います。

★ 総合的な就業支援の実施

- 「キャリアサポートかわさき」による就業支援
- 「コネクションズかわさき」による若年無業者の職業的自立支援
- 専門相談員による労働相談の実施
- 女性向け就業支援の充実



戦略6 「みんなの心がつながるまち」をめざす

～東京オリンピック・パラリンピックを契機とした

スポーツ・文化芸術の振興、「心のバリアフリー」の推進など～

東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組

50,000 千円

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、大会運営支援をはじめ、大会を契機として本市への愛着を育み、誰もが暮らしやすいまちづくりにつながる「かわさきパラムーブメント」の取組を推進します。

★ 大会に向けた取組の推進

・プラットフォームの運営による「かわさきパラムーブメント」の推進

市民協働で「かわさきパラムーブメント」を推進するため、かわさきパラムーブメント推進フォーラムを運営し、多様な主体の連携によるプロジェクトを実施します。



第1回会議の様子

・ジュニアアスリートの育成支援

川崎育ちのアスリートの発掘・育成に向けて、競技団体等関係団体と連携のもと、ハイレベルな選手の強化を目的とした強化練習会等を開催します。

・小中学校等における障害者スポーツ体験講座の実施

パラアスリートを講師に迎え、パラスポーツを知り、体験する巡回講座を小中学校等で開催します。パラスポーツの魅力を感じるとともに、スポーツを通じた心のバリアフリーの推進を図ります。



・事前キャンプの受け入れやホストタウンの取組の推進

英国オリンピックチーム事前キャンプの受け入れに的確に対応するため、事前調査や関係機関との調整を行います。また、英国を相手国とするホストタウンの取組を進め、東京大会への機運醸成や事前キャンプの受け入れを契機とした交流の絆づくりを進めます。



陸上競技の事前キャンプ地となる予定の等々力陸上競技場

東京オリンピック・パラリンピックに関連するその他の主な取組



これらの取組のほか、さまざまな事業に「かわさきパラムーブメント」の視点を取り入れ、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたより良いまちづくりを総合的に推進していきます。

・大規模スポーツ大会を通じたパラリンピック競技の普及

健常者と障害者が同一の大会に出場する取組として国際陸上競技大会にパラリンピック種目を導入し、パラリンピック競技の認知度向上とスポーツを通じた心のバリアフリーを促進します。

・障害者スポーツ推進体制の強化

障害者スポーツの普及・発展のため、市障害者スポーツ協会の運営を支援し、障害者スポーツ普及啓発イベントの開催、パラアスリート向け競技場等の利用調整、広報活動の強化等の推進を図ります。

スポーツ・文化芸術の振興

3,254,734 千円

スポーツを通じた市民生活の充実と、スポーツ資源を活用したまちづくりを進めるとともに、多くの市民が文化芸術の楽しさを感じることができるよう文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進めます。

- ★ スポーツのまちづくりの推進
- ★ 音楽や映像のまちづくりの推進
- ★ 等々力硬式野球場の整備 (株)
(30年度完成予定)



等々力硬式野球場完成イメージ



協働により、心がつながるコミュニティづくり

2,020,669 千円

誰もが暮らしやすく支えあえるコミュニティづくりのため、様々な主体の連携・協働の仕組みをつくり、高齢者、障害者が積極的に社会に参加できる環境づくりを進めます。

★ 多様な主体による協働・連携のしくみづくり

- ・地域の活動を支えるプラットフォームの構築に向けた取組（有償ボランティアの検討）

★ 障害者の就労支援

★ 動物を通じていのちの大切さを伝える取組 ㊦

- ・多様な主体と連携した、動物愛護の取組「ひと・どうぶつMIRAIプロジェクト」の推進
- ・動物愛護基金の創設

★ 多世代交流の場づくり

- ・高齢者の生きがい・健康づくりや、青少年健全育成の場となる多世代交流の場の確保

★ 地域コミュニティ活性化に向けた町内会・自治会の支援

- ・総合自治会館の移転に向けた整備 ㊦



シティプロモーションの推進

193,292 千円

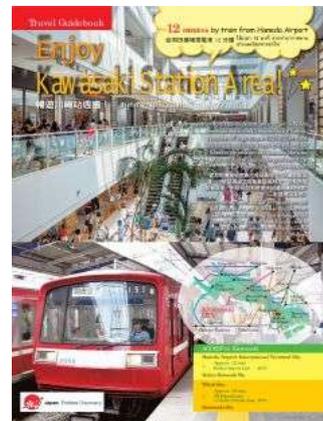
市民が愛着と誇りを持ち、誰もが訪れたい川崎を目指すため、地域資源を磨き上げるだけでなく、新たな地域資源の発掘・創出に取り組むとともに、川崎の魅力が広く伝わる戦略的なシティプロモーションを推進します。

★ 川崎の魅力を活かしたシティプロモーションの推進 ㊦

- ・ブランドメッセージ等を活用した戦略的な情報発信

★ 川崎の特性を活かした観光の振興

- ・観光協会や民間事業者等と連携した観光振興の促進
- ・外国人観光客の誘客等の推進



かわさき駅周辺マップ
(Enjoy Kawasaki Station Area!)

戦略7 「チャレンジを続け、いつまでも活力あふれるまち」 をめざす

～市役所全体の質的向上と持続可能なまちづくり～

「行政改革」の推進

総合計画を着実に推進するため、「質の高い仕事をする職員」と「効率的な組織体制」を備えた「市民満足度の高い市役所」の構築を目指し、対話と現場主義による市民サービスの質的改革等を進めます。

詳細は、41 ページ「7 新たな行財政改革の取組」を参照してください。

健全な財政運営

少子高齢化の進展を見据えて、将来の負担を適正な水準に保ちながら、必要な市民サービスの提供と投資を行います。

詳細は、次ページ「5 今後の財政運営の基本的な考え方」を参照してください。